

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200033
事業所名	グループホーム宝南の家

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 散歩や買い物の際には地域の人と挨拶を交わしている。年2回春と秋に地域の敬老会の行事をホーム内で開催したり、敬老会の人とカラオケを行うなどの交流も図っている。ボランティアではギター演奏、民謡、クラシックバレエまた、学生によるサマーボランティアの受け入れを行い交流を深めている。地元中学校の福祉体験の受け入れも毎年行っている。	評価
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者家族、いきいき支援センター職員、町内会長、敬老会会长、地域代表等の参加で年6回開催され、意見交換やアドバイスを受けて運営に取り組んでいる。会議の参加者からの提案で大同大学での地震体験や南区の防災訓練に参加している。	○
重点項目 ③	市町村との連携（外部評価項目：4） 保護課の担当者とは生活保護の利用者の件で相談し、アドバイスを貰ったり来訪されたりで協力体制が図られている。福祉課には更新等の手続きで出向いた際にホームの現状等周知して貰えるように努めている。職員は市主催の研修に参加し、職員会議でレポートとして報告し、情報を共有している。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 職員は利用者の思い、要望が聞けるような言葉かけや対応に心がけている。また、家族の面会時には意見要望が言い易いように、コミュニケーションを図っている。利用者、家族の希望に添えるように話し合い、速やかに報告している。毎月送付される写真入りの「宝南の家便り」は家族の楽しみとなっている。日帰り旅行やお誕生日会等に家族参加があり、その際にも交流を深めている。	○
重点項目 ⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確 認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。